

貫録の優勝！さすが川添奨太(JPBA)



2019年12月15日～22日

PBAカメレオン・オープン

茨城：鹿島ボウル



今回のインタビュアーは藤井信人プロにお願いしました。アマチュア時代から切磋琢磨した二人で楽しいインタビューになりました。

■皆さんこんにちは！準決勝で惜しくも敗退した（観衆笑い）私、藤井信人から優勝インタビューをさせていただきます。
非常に残念な（川添Pにこずかれる）（あわてて訂正）いや、優勝おめでとうございます。優勝した気持ちをお聞かせください。

皆様ありがとうございました。ずっとマッチゲームで戦わなければいけないので、非常に厳しい戦いでした。
予選、準決勝が良かった藤井プロがおそらく勝ち上がってくるだろうなと思っていたのですが
まあ、ひょこっと早めに負けてくれたので（場内笑い）、気楽に投げられましたね。

■（藤井P苦笑）はい、ありがとうございます。川添プロは、強いという印象があり、何回も優勝されていますが
こういった気持ちで優勝戦に臨んでいますか？

そうですね・・・余り相手を気にせず、自分のボウリングに集中することが大切かなと思います。
相手を意識してしまうと力が入ったり、スコアを見たりしてここでストライクが来ればと力が入ってしまうので
スコアや相手を意識しないように、極力自分のボウリングに集中することになっています。
そこが藤井プロに足りないところかな（冗談を交えながら楽しいインタビューです）

■リージョナル自体が難しいコンディションなのですが、川添プロがレーンアジャストなど、スポーツコンディションで
一番気をつけていること、気にしていることはどんなところでしょうか？

今回のカメレオンは、いつものコンディションより比較的攻略しやすいパターン
だったのかなと思うのですが、僕が一番心掛けているのがボールのラインナップですね。
最近では男子の大会ですと朝一ウレタンで投げてレーンがこのように変化していきだろうな
と常に頭の中で何回もシュミレーションしながらやっています。今回も最後アイドルプロと
いうボールを使って投球していたのですが、通常の公式戦ではあまり使う事なかったのです。
コントロールしやすいボールでしたのでガラッと違ったラインナップで持ってきました。

■2019年、今年最後がリージョナルツアーの優勝でした。来年に向けて目標や抱負をお願いします。

今年は、お陰様でJPBAの方で三冠王も獲得できてよかったと思っています。
最後のこの試合も、戦った東海選手はアマチュアでも実力のある方で厳しい戦いを予測
してましたが、負けるわけにいかない戦いでしたので、勝ってほっとしています。

ROTOGRIP様・ハイスポーツ社様、またリージョナルを主催するJBP様
いつもこのような素敵な舞台を作っていただきありがとうございました。
来年も今年に負けない活躍をしたいと思っておりますので応援宜しくお願いします。

